

一般廃棄物処理施設の維持管理に関する情報の公表について

(平成28年度 甘楽西部環境衛生施設組合 清掃センター)

廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第4条の5の2に基づき、一般廃棄物の焼却施設である清掃センターの維持管理に関する情報を公表いたします。

1. 処分した一般廃棄物(可燃ごみ)の量 (規則 第4条の5の2第1項第1号 イ 関係)

区 分		単位	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
焼却量	1号炉	t	102	111	110	100	118	104	104	110	109	101	94	97	1,260
	2号炉	t	102	110	109	99	111	101	101	106	109	101	93	97	1,239
合計焼却量		t	204	221	219	199	229	205	205	216	218	202	187	194	2,499

2. 燃焼室中の燃焼ガス温度、集じん器に流入する燃焼ガス温度、排ガス中の一酸化炭素濃度(月平均値) (規則 第4条の5第1項第2号 ト、リ、ヲ 関係)

区 分		単位	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
燃焼室中の燃焼ガス温度	1号炉	℃	932	922	924	919	919	900	912	912	920	917	916	913	917
	2号炉	℃	936	922	925	925	926	914	925	914	922	919	916	915	922
集じん器に流入する燃焼ガス温度	1号炉	℃	182	180	181	181	181	182	182	182	182	182	184	183	182
	2号炉	℃	182	180	181	181	181	182	182	182	182	182	184	183	182
排ガス中の一酸化炭素濃度	1号炉	ppm	29.5	26.7	28.0	27.9	29.3	29.8	30.8	30.6	31.4	31.4	31.9	30.1	29.8
	2号炉	ppm	29.5	26.7	28.0	27.9	29.3	29.8	30.8	30.6	31.4	31.4	31.9	30.1	29.8
備 考			連続測定	連続測定	連続測定	連続測定	連続測定	連続測定	連続測定	連続測定	連続測定	連続測定	連続測定	連続測定	連続測定

3. 冷却設備、排ガス処理設備にたい積したばいじんの除去を行った日(規則 第4条の5の2第1項第2号 ヌ 関係)

区 分	1 号 炉	2 号 炉
冷 却 設 備 (急 冷 塔)	平成28年5月30日 平成28年8月26日	平成28年5月30日 平成28年8月26日
排ガス処理設備(バグフィルター)	平成28年11月6日	平成28年11月6日

4. ばい煙又はばい煙濃度測定結果 (規則 第4条の5第1項第2号 カ 関係)

区 分	排出基準	単位	1 号 炉		2 号 炉	
			1回目	2回目	1回目	2回目
排ガスを採取した年月日			平成28年7月21日	平成29年1月19日	平成28年7月28日	平成29年1月26日
結果が得られた年月日			平成28年8月2日	平成29年2月1日	平成28年8月5日	平成29年2月10日
硫酸酸化物濃度(※排出基準)	K値17.5で測定される排出基準	K値	0.01	0.01未満	0.02	0.01未満
ばいじん濃度	0.25	g/m3	0.003	0.003未満	0.003未満	0.003未満
窒素酸化物濃度	250	ppm	60	71	70	66
塩化水素濃度	700	mg/m3	11.0	8.0	11.0	7.0

5. 排ガスのダイオキシン類濃度測定結果 (規則 第4条の5第1項第2号 カ 関係)

区 分	排出基準	単位	1 号 炉	2 号 炉
排ガスを採取した年月日			平成28年7月21日	平成28年7月28日
結果が得られた年月日			平成28年9月1日	平成28年9月1日
排ガス中のダイオキシン類濃度	5.0	ng-TEQ/m3N	0.510	0.320

【検査項目】

ばいじん濃度：物が燃焼するとき発生するものうち、すす、完全に燃焼した灰分、燃焼ならびに熱分解による固形粒子。

塩化水素濃度：塩化ビニール樹脂等の燃焼の際に発生する、刺激臭を有する無色の気体。

窒素酸化物濃度：石油、ガス等燃料の燃焼に伴って発生する。

硫酸酸化物濃度：石油や石炭を燃やすとそれらに含まれている硫黄分が酸素と結合して発生する。

ダイオキシン類：塩素、酸素、炭素、水素の存在するところで、物が燃焼するとき発生する有機化合物。